

TCシンポジウム1999 XML分科会

XMLって本当に「使える」の？

eXtensible Markup Language

# 本日のポイント

- 「文書の構造」とは、何を意味するのですか？
- SGMLやHTMLではなく、なぜXMLなのですか？
- 本当にXMLはマニュアルに向いているのでしょうか？

eXtensible Markup Language

**Q1**

**「文書の構造」とは、何を  
意味するのですか？**

**eXtensible Markup Language**

# A1

- 見栄えの指定と構造指定は別の問題である
- 意味の指定という要素もある
- 文書には階層構造がある

eXtensible Markup Language

# Ex1 見栄えの指定

スタイル設定を見栄え指定のためだけに使用すると...

意味が全く異なるのに同じスタイルを適用する場合が出てくる。

→再利用が困難



# Ex2 意味の指定

スタイル設定を意味／階層の指定のために使用すると...

意味や階層ごとに再利用することが可能になる。

→意味と見栄えの分離



# Ex3 階層の入れ子構造

大見出し

中見出し1

小見出し

導入文

手順文

中見出し2

<大見出し>

<中見出し1>

<小見出し>

<導入文>

</導入文>

<手順文>

</手順文>

</小見出し>

</中見出し1>

<中見出し2>

**Q2**

**SGMLやHTMLではなく、  
なぜXMLなのですか？**

**eXtensible Markup Language**

# Q2-1

最初からHTMLを利用すれば  
良いのではないですか？

eXtensible Markup Language

# A2-1

- 対象領域によって適／不適がある

eXtensible Markup Language

## Q2-2

データ再利用を重視するなら、  
SGMLにすれば良いのでは  
ないですか？

eXtensible Markup Language

# A2-2

- SGMLとXML、できることはほぼ同じ。

eXtensible Markup Language

**Q3**

**本当にXMLはマニュアルに  
向いているのでしょうか？**

**eXtensible Markup Language**

# Q3-1

紙マニュアルとXMLの  
相性はどうでしょう？

eXtensible Markup Language

# A3-1

- ad hocな対応が要求される文書には向いていない
- 要素の出現順序が定型のものは向いている
- データベース資産として考慮するならば、XML化も検討の余地がある

# Q3-2

電子マニュアルとXMLの  
相性はどうでしょう？

eXtensible Markup Language

# A3-2

- ユーザー要求に応じ、見せかたを動的に変更できる余地が出てくる
- クロスプラットフォームを対象とした電子マニュアル制作が変わる可能性もある

eXtensible Markup Language

# 結論

- 対象領域の性質を十分に考慮した上で、XML化を検討すべき

eXtensible Markup Language